

平成23年度文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

劇団若獅子

錦秋公演
平成23年度(第66回)文化庁芸術祭参加公演
文化庁芸術祭協賛公演

北條秀司 作・演出

北條美智留 監修

田中 林輔 演出
有馬 裕人 美術・照明

新国劇を偲び
緒形 拳 追悼

玉将

坂田三吉の生涯

笠原 章
(坂田三吉)

頑張り
日本

吹けば飛ぶような将棋の駒に
命を懸けた男の一代記

〔特別出演〕



(女房小春) 神野 美伽

〔参加〕



石橋 保



緒形 幹太



中條 響子



清水 馨



桐山 浩一



浅井 弘二



中川 歩



水野 善之



桂 広行



御影 伸介



南條 瑞江

主催 題字 背景画 劇団若獅子
北條秀司 本木孝雄



神澤 礼実



平井 愛子



宮本 夕莉



柴田 時江



水口 智世江



金田 拓三



高橋 浩二郎



貴田 拳



舞戸 礼子

平成23年 11月1日(火) ~ 9日(水)

開演時間	1日(火)	2日(水)	3日(祝)	4日(金)	5日(土)	6日(日)	7日(月)	8日(火)	9日(水)
	2:00	1:00	11:00	1:00	11:00	11:00	1:00	1:00	11:00
			3:30		3:30	3:30			3:30

入場料 6,000円 (全席指定・税込)

プレイガイド

■イープラス <http://eplus.jp> (PC&携帯電話)
■カンフェティチケットセンター <http://confetti-web.com/>
TEL 0120-240-540 (平日 10:00 ~ 18:00)

〈お問い合わせ・お申込み〉三越とイープラスは一般前売開始10月1日(土)

■劇団若獅子事務所 TEL&FAX 03-3356-9875
〒160-0004 新宿区四谷4-18-202
<http://www.h2.dion.ne.jp/~wakajish>

■三越劇場 TEL 0120-03-9354 (10:00 ~ 18:00)
<http://www.mitsukoshi.co.jp/t> (PC&携帯電話)
※三越劇場の前売り初日はお電話・インターネットご予約のみ

〈アクセス〉東京外環線・半蔵門線「三越前駅」JR「新日本橋駅」



MITSUBUKOSHI
三越劇場 〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店本館6階



伊藤 菜生



紘 貴



貴堂 寛之



藤 桃子



今井 吉清



廣田 伊功磨



廣田 礼王恩



涙と笑いの一代記

亡き師辰巳柳太郎の当たり役・坂田三吉に挑んだ代表笠原章を中心に、波乱の一代記を温かな涙と笑いでくんだ。型破りなこの男の魅力、彼を取り巻く女たちを通して浮かび上がった北條秀司の筆力に圧倒される。本公演には緒形の長男幹太も出演している。坂田の後継者となる弟子の森川役不器用なぐらい誠実で優しい男がぴたりとはまった。

（記事は、読売新聞 朝刊 四月十六日より抜粋）

感動の三部作一気上演



坂田三吉も務めた先輩・緒形への追悼の意が込められ、心温まる公演だ。それにしても三部作一気上演とは大胆な企画だ。幸い演出の田中林輔が「放浪記」の三木のり平に匹敵する新脚色を施したのと、三吉役の笠原章をはじめ、ゲストの神野美伽、緒形幹太ら出演者全員が一体となって熱っぽく演じたことで、上演時間も苦にならず、むしろ各幕の感動場面に素直に浸れた。（津田類II 演劇評論家）〈東京新聞 夕刊 四月二十三日より抜粋〉

（写真は、平成二十一年 前回の舞台より）

公演日	公演時間	会場
10月29日(土)	1時30分	奥州市Zホール
10月30日(日)	1時	前橋市ベイシア文化ホール
11月1日(火)	2時	前橋市ベイシア文化ホール
11月2日(水)	1時	前橋市ベイシア文化ホール
11月3日(祝)	11時 / 3時30分	前橋市ベイシア文化ホール
11月4日(金)	1時	前橋市ベイシア文化ホール
11月5日(土)	11時 / 3時30分	東京 三越劇場
11月6日(日)	11時 / 3時30分	東京 三越劇場
11月7日(月)	1時	東京 三越劇場
11月8日(火)	1時	東京 三越劇場
11月9日(水)	11時 / 3時30分	東京 三越劇場

（日本橋三越本店 本館6階）

※日程に変更がある場合はご了承ください

あらすじ

草履職人の坂田三吉は、通天閣が見える大阪・天王寺の路地裏で貧しい長屋暮らし。仕事はそっこのけで将棋に熱中し、妻の小春も、幼い子供達を連れて親子心中を考える始末。だが、三吉の心には対戦したばかりの関根七段の棋譜が甦ってくる。明治三十九年夏。生涯の棋敵との出会い。三吉の手が駒に伸びた。娘の玉江が叫ぶ。

「お父ちゃんの阿呆っ！」

そして八年後、大正二年の春。七段の棋士となった三吉は、八段に昇格した関根に勝利を収め絶賛を浴びる。しかし玉江だけは、起死回生の一手が苦しまぎれに打った手だと見抜いた。「勝負に勝っても、将棋には勝てへん」と三吉は傍らの小春に再出発を誓う。大正十年秋。三吉に関西名人昇格の噂が出始め、東京では関根が名人位に就いた。祝賀会に現れた三吉を追って、病院から小春の訃報が届く。南無妙法蓮華経……小春が三吉の大成を祈ったお題目を、今は電話口の三吉が小春のために唱え続けた。

やがて時代は昭和へ移り、関西名人に祭り上げられた三吉は将棋連盟から排斥され、大方の弟子達も去る。東西対局戦に敗れ昭和十八年に将棋界を引退時は流れ、戦後まもなくの荒れ果てた大阪天王寺の長屋。今は好々爺となった三吉の許へ、立派に後継者となった弟子の森川が復員して来た。

音楽／橋場 清
音響／江原芳枝(SBS)
舞台監督／梅澤秀次(千住企画)

〈次回公演〉

平成24年5・6月

劇団若獅子結成25周年記念公演

エドモン・ロスタン 原作「シラノ・ド・ベルジュラック」 楠山正雄 訳 額田六福 翻案 田中林輔 潤色・演出

澤田正二郎 演出に拠る

白野弁十郎

中嶋正留 美術

南條 瑞江
御影 伸介
桂 広行
水野 善之
中川 弘二
浅井 ほか

笠原 章
(白野)

参加



河原崎國太郎 (前進座)



横内 正



緒形幹太

美艷の千種姫に恋する
公津彌朱雀藤士、白野弁十郎
詩人て剣豪、そして種り法師の
偉大な舞の物語

5月26日(土)	国立文楽劇場 (大阪)
27日(日)	名鉄ホール (名古屋)
28日(月)	俳優座劇場 (東京)
6月3日(日)	

不登校の子の居場所



今生塾

群馬県勢多郡富士見村大字赤城山 1140
TEL・FAX 027-288-3956

金田 倫光